

Tunnel Routing

Xtera Communicationsについて

エクステラ・コミュニケーションズは1998年にテキサスで設立され、WAN-LANの間のネットワーク・バックボーンインフラおよびネットワーク・エッジデバイスを専門とした米国に拠点を置く企業です。光伝送およびIPネットワーク分野での世界的なリーダーであるエクステラ社は、インターネット・バックボーンからエンドユーザーのWANトラフィックマネージメントまでのソリューションを提供するワンストップ・プロバイダーです。詳細はこちらをご覧ください。 www.xtera.com

Xtera IP事業部について

アセンビジョン・テクノロジーは2000年8月に設立し、2007年10月にエクステラ社に買収され、エクステラ社のIP事業部となりました。ネットワークの管理、セキュリティおよびパフォーマンスに関する包括的なワールドクラスのソリューションを提供するために、IP事業部では革新的なL4-L7スイッチング・テクノロジーを使用しています。詳細はこちらをご覧ください。 www.xtera-ip.com



- ▶ 複雑な企業のデータ整理統合を軽減
- ▶ シングルVPN通信の障害を解決し、ロードバランスを実現
- ▶ VoIP・ビデオ会議およびストリーミング・メディアなど、シングル接続のアプリケーション帯域幅を集約し、最適な使用法を実現
- ▶ 専用回線を安価なブロードバンド回線へ置き換えることで、優れた費用対効果を実現
- ▶ LANの複数セグメント間の途切れない通信を提供
- ▶ ダイナミックIPアドレスのサポート
- ▶ 複雑なリモート・ネットワーク環境での設置手順を簡素化

インターネットの目覚ましい発展と共に、企業はグローバル事業に着手したことで分散したデータ管理が大変重要となりました。1990年代に現れたデータの集中管理は、総合的および効率的なデータ管理ソリューションを提案しています。これまで、データ集中管理はテレコミュニケーション、金融、保険業だけでなく、さまざまな分野に広がっています。従って、高速で安全な信頼できるネットワークは、本社と支店間の安定した通信を保証する上で、大変必要とされています。

Tunnel Routing テクノロジー

シングル・ポイントの障害に取り組むため、Xtera社が特許を取得したTunnel-Routingテクノロジーは、VPN(あるいはVoIP、テレビ会議、ストリーミング・メディアのようなシングル接続アプリケーション)ロードバランスおよびフォールト・トレランス用の、サイト間のマルチWAN接続のソリューションを提案します。

帯域幅の集約

シングル接続には、特許を取得したTunnel-Routingテクノロジーにより、帯域幅の集約を実現するため複数のWANリンクを経由して、効率的にVPNパケットを転送することができます。安価なブロードバンド回線を複数使用することにより、お客様はコストを抑えてVPNおよびイントラネットを拡張することができます。

ロードバランス

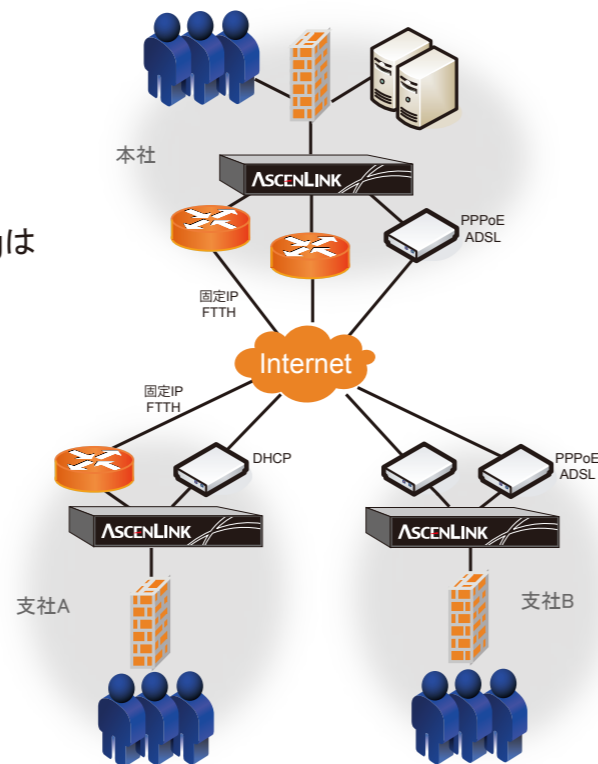
リアルタイム・ロードバランシング・アルゴリズムで、AscenLinkのTunnel-Routingエンジンは各VPNパケットを利用可能な最良のリンクへと送信します。言い換えれば、AscenLinkはネットワークの有用性を高めて、VPN伝送をより効率的に行います。

フォールト・トレランス

WANリンクヘルス検知(WLHD)機能は、WANのリンク障害によって引き起こされるサービス中断を回避するために、リアルタイムのWANリンク・ステータスを正確にモニターすることができます。したがって、全てのパケットが宛先に到達するまで、中断することなくパケットの伝送を継続することができます。Tunnel-Routingテクノロジーにより、ネットワーク資源が完全に活用されると同時に、正確さと信頼性は送信者と受信者の両方に保証されます。

ダイナミックIPのネットワーク環境をサポート

ダイナミックIPアドレスを備えたネットワーク内でTunnel-Routingをサポートする能力は、企業が安価なADSL回線でも中断することがなくロードバランスされたVPNネットワークを実現することを可能にします。AscenLinkのTunnel-Routingは市場上の他の全ての製品とは比較出来ないたぐいまれな特徴を持っています。

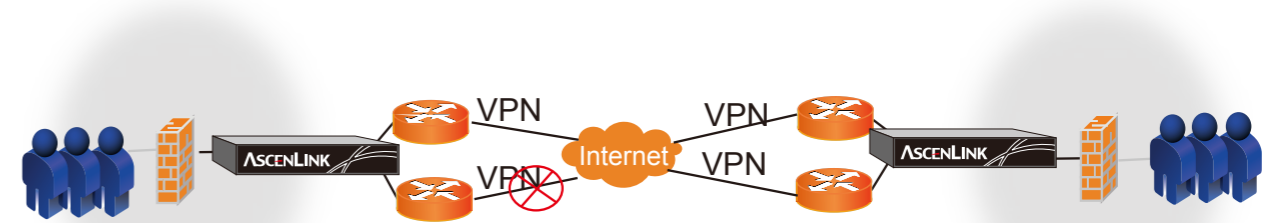


Tunnel Routingの適用

VPN帯域幅を拡張し、VPNデータ伝送およびロードバランスの持続性を保証

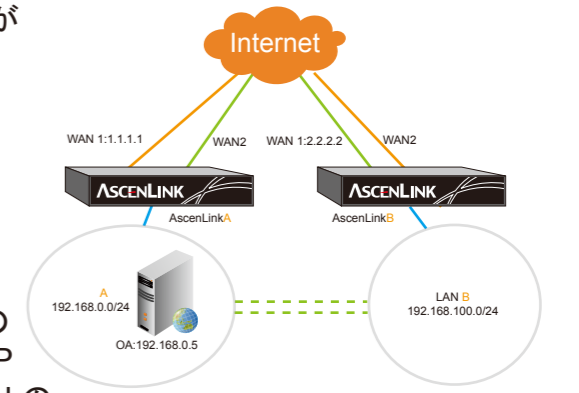
従来からの2種類の接続 — 専用線及びVPN (IPsecやMPLS VPN)は、安全なデータ伝送を保証するために利用されています。しかしながら、シングル・ポイントでの障害、制限のある帯域幅、あるいはロードバランスが行えないという欠点が、データ交換の失敗やデータロスという結果をまねく可能性があります。

Tunnel-Routingは、複数のWAN回線に向けてVPNパケットを送信できるだけでなく、信頼できるVPN接続性を確実にするために、それらの回線上でフォールト・トレランスを行うことができます。つまり、VPNロードバランス、フォールト・トレランスおよび帯域幅集約の利点を達成しながら、複数のWAN回線を使用し拠点間でVPN接続を構築することができます。



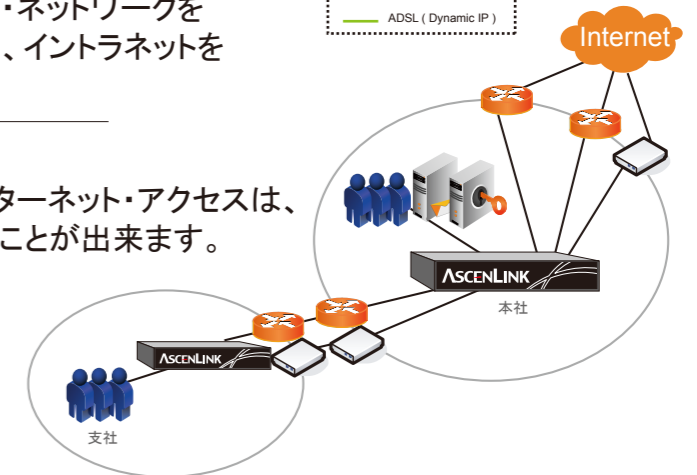
ネットワークの強化および帯域幅の集約により、中断することのないサービスを提供

シングル接続アプリケーション (VoIP、ビデオ会議及びストリーミング・メディア)パケットを複数のWANリンク上で伝送させることを可能にし、ロードバランスを実現します。それにより拡張した帯域幅を実現すると共に、フォールト・トレランス機能が伝送をスムーズにし、中断しないサービスを構築することができます。



分割された複数のLANを公衆回線に接続し、イントラネットを構築

VPNゲートウェイがない場合、トンネルはAscenLinkのTunnel-Routing機能により構築します。プライベートIPアドレス経由での通信を実現させるために、AscenLinkのTunnel-Routing機能は、複数のプライベート・ネットワークをインターネット回線経由で接続することにより、イントラネットを構築することができます。



セントラル・ルーティング

セントラル・ルーティングにより全拠点のインターネット・アクセスは、本社のインターネットゲートウェイを使用することができます。本社はポリシー・ベースのルールによって、各拠点のインターネット・アクセスを容易にコントロールすることが可能です。従って、各拠点のインターネット・アクセスにかかる諸経費を軽減することができます。

